

第八次宮崎県森林・林業長期計画全体構成図

第1章 計画策定にあたって

第1節 計画策定の趣旨

第2節 計画の位置づけ

第3節 計画期間

第4節 策定方法

第2章 森林・林業・木材産業を取り巻く諸情勢

第1節 森林・林業・木材産業を取り巻く情勢の変化

- 1 人口減少社会の到来
- 2 持続可能な開発目標（SDGs）への貢献
- 3 地球温暖化対策と森林・林業の役割
- 4 激甚化・多発する自然災害
- 5 法律の制定等の新たな動き
- 6 合法伐採の推進
- 7 木材の需要等の変化
- 8 新型コロナウイルス感染症の影響

第3節 森林・林業・木材産業に期待される役割

- 1 森林の役割
 - (1) 木材等林産物の供給
 - (2) 安全で快適な生活環境の保全
 - (3) 豊かな自然環境や生物多様性の保全
 - (4) 地球温暖化防止への貢献
- 2 林業・木材産業の役割
 - (1) 木製材品等の供給
 - (2) 地域経済の活性化
 - (3) 脱炭素を目指す社会への貢献
- 3 持続可能な開発目標（SDGs）への貢献

第2節 本県の森林・林業・木材産業の現状と課題

【現状】

- 森林資源の充実
- 手入れが行き届かない森林の増加
- 無断伐採等の発生、森林資源の奥地化
- 大径材の増加、住宅需要の減少
- 林業担い手の減少・高齢化、労働者不足
- 新型コロナウイルス感染症による影響の長期化

【課題】

- 森林資源の適切な管理
- 森林経営管理体制の強化、森林経営管理制度の推進
- 持続的な原木供給体制の整備
- 加工流通体制の効率化及び木材需要の拡大
- 新規就業者の確保・育成及び林業労働災害の防止
- 事業者への経営支援、需要に応じた木材供給対策

第3章 計画の目標と施策の基本方向

第1節 10年後の素材生産量と将来の森林資源

- 1 素材生産量と再造林面積（率） 素材生産量：190万³m 再造林面積：○○○ha（80%）
- 2 森林資源量予測シミュレーション

第2節 目指す姿と基本目標

- 1 本県の森林・林業・木材産業の目指す姿

森林
木材等林産物の供給をはじめ、災害の防止や水源の涵養など、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮されるとともに、森林資源の循環利用が着実に進み、年齢や樹種の構成などバランスのとれた森林になっている。

林業
スマート林業や森林施業の省力化等により、林業の採算性が向上し、持続的な林業が確立されるとともに、就労環境の改善等が図られ、林業が安全で魅力ある産業となり林業担い手の確保や森林資源を活用した森林産業が創出され、活力ある山村地域となっている。

木材産業
木材の加工・流通の合理化が図られ、品質・性能の確かな製材品等が安定的に供給され、住宅や公共建築物をはじめ、エネルギーとしての利用など多様な分野での木材利用が進むとともに、東アジア地域を中心とした様々な国に向けた輸出が増加するなど、活力ある産業となっている。

- 2 基本目標 「持続可能なみやざきの森林・林業・木材産業の確立」 ～多様な森林づくりとイノベーションを通じて～

第3節 施策の基本方向と施策体系

- 1 施策の基本方向 (1) 多面的機能を持続的に発揮する豊かな森林づくり (2) 持続可能な林業・木材産業づくり (3) 森林・林業・木材産業を担う地域・人づくり
- 2 施策体系

第4章 基本計画

第1節 多面的機能を持続的に発揮する豊かな森林づくり

- 1 適切な森林管理の推進
- 2 資源循環型の森林づくりの推進
- 3 安全・安心な森林づくりの推進

第2節 持続可能な林業・木材産業づくり

- 1 効率的な林業経営と原木供給体制の確立
- 2 木材産業の競争力強化
- 3 県産材の需要拡大の推進
- 4 特用林産の振興
- 5 研究・技術開発及び普及指導

第3節 森林・林業・木材産業を担う地域・人づくり

- 1 山村地域の振興・活性化
- 2 林業・木材産業を支える担い手の確保・育成
- 3 森林を育み、支える人づくり

第5章 重点プロジェクト

重点1 林業イノベーションプロジェクト

再造林の効率化・省力化、スマート林業の推進

重点2 木材産業サプライチェーン構築プロジェクト

木材の生産・加工・流通改革、新たな木材需要の開拓

重点3 担い手確保・育成プロジェクト

多様な担い手の確保・育成

第6章 地域計画

1 中部地域

2 南那珂地域

3 北諸県地域

4 西諸県地域

5 児湯地域

6 東臼杵地域

7 西臼杵地域

第7章 計画の実現に向けて

1 役割分担

2 国有林との連携

3 計画の進行管理